



引き続きのご支援を

OB会会長 阿部 祐之(56期)

草木の露も霜へと変わり、冬の気配がいよいよ深くなつてまいりました。OB会員の皆様方には、日々ご健勝で精進の事と思ひます。去る六月のOB会総会には、本年度も多数の会員の方々のご出席をいただき、大変ありがたうございました。例年と変わらぬ楽しく有意義な一時をもちました事に心より感謝申し上げます。

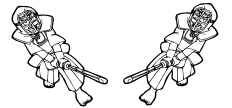
さて、私事ながら、この総会におきまして三度の会長職を仰せつかることとなりました。

過去を振り返りましても、確たる職責も果たすことはできなかった。浅学非才の者です。その私が、三期目を迎えましても、OB会員の皆様方のご期待にどれほどお応えできるか甚だ危惧されるところですが、新役員の皆様方のご協力を得て、精一杯努めて参りたいと思ひます。今までと変わらぬ皆様方のご支援をよろしくお願ひいたします。

平成十七年年度には、剣道班OB会も「上田高校運動部連合会」に加入いたしました。

そして、来年度はさつそくこの連合会の運営を任されることとなりました。必然的に連合会長他の役職は剣道班OB会が負うこととなります。状況をご報告の方々、この件につきましても皆様方のご理解とご協力をお願いする次第です。

「剣風」
題字:細川武敏(41期)筆
OB会報第15号
平成19年12月1日発行
制作:c b 鼓 囃子



OB会会長 阿部 祐之(56期)

昨年度の上田高校剣道班戦後剣道部五十周年行事には、大勢の皆様のご支援、ご協力を頂きました。故依田嘉人先生(32期)のご遺族からは多大なご芳志を頂き、現役生に太鼓を贈ることができました。そして、警視庁の主席師範梯正治先生・原田悟氏・内村良一氏をお呼びして、講演と模範稽古をしていただくこともできました。それがOB会にお寄せいただく皆様の深いご理解であり、ここに改めてお礼を申し上げます。

新役員のごことば

監査 竹内茂直(72期)

このたびOB会役員(監査)を仰せつかりました。高校卒業以来剣道から遠ざかっておりましたが、長男が中学で剣道を始め、二〇数年ぶりにたまたま稽古もしています。始めは息

本年のOB会活動報告

幹事長 工藤武和(67期)

昨年は戦後創部五十周年という大きな節目を迎え、すばらしい記念総会が締められ、本年は二月一日半田孝淳(34期)先輩が第二五六世天台座主に上任されるとい幕開けとなりました。：感動の極みです。

さて、今まで何度となくお誘いを頂いておりましたが、今年で十三年になります。上田高校運動部OB連合会に十七年度から入会致しましたことをお知らせいたします。二月に総会があり、剣道班はいきなり来年度幹事となり、阿部会長が来年会長ということになりました。

OB会の活動をお手伝いするなかで、また剣道にも親しんでいくたらくと考えております。よろしくお願ひいたします。

副幹事長 渡邊隆信(75期)

この度OB会の役員と言う大役を仰せつかりました。上田高校剣道班の益々活躍をバックアップすると共にOB会の発展に誠に微力ですが参画して参ります。

現役当時ササクレだらけの旧剣道場にてOBの皆様につけて頂いた稽古のことをつい昨日のように思い出されます。あの床も防具も諸先輩のご支援だったことと気付いたのは卒業後随分経つてからでした。私も先輩の志を後輩に受け継いでやらせるよう頑張ります。

会計 山崎完爾(77期)

ある夜「山崎、そろそろ会計どうだ」と。電話から聞き覚えのあるだみ声。そこに選択の余地は：「また会計か」市役所に勤務し、現在は川西公民館という生涯学習の場で働いていますが、前の職場が会計課でしたので、また？というこに。

この会は運動部という大きな輪で後輩の育成、OBのコミュニケーション作りを目的としていて、総会、春秋のゴルフコンペが行われております。来年は剣道班が幹事という事です。来年は剣道班をおやりになる方は剣道班ホームページに登録しておいて下さい。日程が決まり次第お知らせいたします。

六月二十三日のOB総会は三十五人のOBが集い、充実した稽古会、楽しい懇親会となりました。また、本年は役員改選の年であり、OB会の充実を図るため、今までより更に役員を増しての承認を頂きました。OB会の行事の参加とメール、郵便等を通してのご意見、情報をお寄せ頂くことを切にお願ひいたします。

そうは言っても、受けたからには前向きに、皆様の協力をお願いいたします。適切な会計処理に心掛けてまいります。よろしくお願ひいたします。

副幹事長 正村聖美(80期)

本年度「会報」担当部会に就きました。副幹事長の正村聖美です。微力ながらお役に立てるようがんばりたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

Table with columns for 新役員名簿 (New Executive List) including 副会長 (Vice President), 幹事長 (President), 副幹事長 (Vice President), 監査 (Auditor), and 顧問 (Advisor) with names and terms.

OB会ホームページ http://www.sinsyu.or.jp/~kendou/

半田孝淳大先輩(34期)90才 天台座主に就任

上田市別所温泉の北向観音の本寺であり、重文の石造多宝塔で有名な常楽寺住職であった半田大僧正が、今年の二月に天台宗最高位の二五六世座主に就任されました。

OB総会に参加して

矢ヶ崎心哉(106期)

上田高校剣道班五十周年から一年。私は今回初めてOBとして稽古会とOB総会に参加した。現役時代、様々な面で支えて下さったOBの方々と稽古。稽古以外の場ではあったが、先輩方は本当に上田高校を愛しているのだと実感した。だからこそ、もう一度僕は105期の時間を思い出して見る。僕達のテーマは「全員剣道」脱落者の先輩後輩を越えた本物のチームワークを目指した。これは誰が言い出したというものではない。だからこそそこには私達にしかない「何か」があった。自分達の中に「確かな何か」と「自分達の時代を創る」という強い気持ちがあれば、そこには必ず「本物」が生まれる。新たな時代を創ってくれる、と信じられる後輩も育ってきている。だから私はみんなを信じ、剣を通じてずっと応援していく。いちOBとして。

挑戦

剣道班顧問 神津 純 (77期)

剣道場に顧問として、初めて足を踏み入れたのは本年四月二日。仁木良子先生が去って一年。全国を知る一〇六期の班員もすでに三年生。一年間の指揮者不在の中、生徒は、班はどんな状態になつて

四月二日の初めの稽古で班員に向かつて口にした。彼らの目が一齐に煌めいたのを覚えている。それと同時に襲いかかった重圧も。特に女子の三年生の再び全国への思いは強く、妥協を許さぬ稽古が続いた。二時間に満たない稽古時間ではあるが、集中力は切れることを知らず、創意工夫は際限を持たなかった。

四月に口にして以来、全国を語るのは初めてだった。数々の実績に手応えを感じたこともあるが、それ以上に彼らの姿に全国への挑戦者としての資格があるのを感じたからだ。結果は男女とも県の八強で一〇六期の三年間は終わってしまった。



しかし、その間に確信した。上田高校の生徒は全国への挑戦者の資格を間違いなく持っている。歴代の監督の築き上げた財産ともいふべき態勢と、それに応えて伝統の奔流を継承し続ける班員達の不断の努力とが道場に満ちあふれている。自分がしなければならぬことは、その道場を正しく守り続けることである。全国へ行くことを目標とすることではない。全国への挑戦者の資格を班員に持たせることである。挑戦者たる人間の育成なくして全国への道はあり得ない。

昔 剣道 今 昔

昭和九年度校友会誌 剣道部記事抄

紀元二五九四年！我等の活躍すべき時が来たのだ。縣下に威名を轟かした精悦の闘士十二名を送り新に我等は名譽ある剣道部を背負って立つことになった。今年度に於ける我等の責任は實に重く傳統の歴史を高一層上げねばならないのだ。我等は一致團結して勇往邁進しやう。

五月廿日(日) 此日は愈々待ちに待った第五回大日本學生聯盟豫選大會の日だ我等一行は元氣一杯優勝を目指して上田蠶絲専門學校に向つた。

蔘加校(本校、長野工業、岩村田中學、野澤中學、長野中學、松本中學、北佐久農學、丸子農商、小諸商業、小縣蠶業、長野實業補習教員養成所)

本校は松本中學、野澤中學、丸子農商と一組になる。

本校3-2松本中學

吾が選士平素の技出ないのか辛うじて松本を破る。

本校4-1野澤中學

四勝一敗強敵野中を破る。

本校5-0丸子農商

お、見よ此の素晴らしき戦績を全勝！全勝！我等は勝つた。

愈々決勝リーグ戦に出場することになった。

最初に岩中對長工の試合長工は岩中を三對二で破り鼻意氣荒し。

本校2-2長野工業

あ、我等は敗れた残念！我等は涙を呑んで岩中に對した。

本校3-2岩村田中學

長工に敗れたと雖も強剛岩中を向ふに廻して戦ひ勝ちを奪つた。吾等は長工と共に豫選に出場することを得た。

六月拾七日(日)吾等は浅間温泉で身を洗い清らかになって近縣下中等學校剣道大會に出場すべく松本高等學校道場に行った。第一回戦不戦一勝

第二回戦

本校4-1大町中學

見事！見事！我等は敵を抑壓して居つた。

第三回戦

本校0-5富山中學

残念 曲者(東海道の道場荒しの若武者)に勝を奪はれた。吾等は最初に一本を取って居りながらついに敗れた。

略

七月廿四日 我等選士は東京修道學院に學び村上是二段を得、藤倉、永井、母袋、工藤毅、瀧澤、宮澤、伊藤は初段を得た。

略

二月二日(土) 我等五年生のために四年生諸君が盛大なる送別會を開いて呉れた。我等は厚く感謝してやまない我等は過去一年間を回顧すれば、遺憾ながら立派な成績を上げた事がなかつた切に希ふ「手習は坂に車を押すが如く」劍の道も又其通りだった千戈の戦争ばかりではない人生渡世其ものが望み一個の戦争であるされば敵に勝つもの必ずしも強者でない己れの全力を盡しても尚勝を占むことも出来ない時は如何して恥ぢよう武人は今も昔も正義を尊ぶ正義に生きるは武人の道であるどうか四年生以下の諸君よ益々努力と忍耐を以て双腕を層一層錬磨せらんとす。

(半田孝淳記)

今春の高校総体は男女とも県八強で終わりましたが昨年、指導者不在の中で取り組んできた一年間の努力は県下の高校剣道部の一番であったと確信しています。

女子個人戦で滝浪遥さん(3年)柳田千賀子さん(3年)二名が北信越大会に出場しました。陰になってチームを支えてきた柳田さんが20分以上の延長を制して勝ち取った県ベスト8は彼女の日頃の努力を見てきた一人として本当に嬉しく思います。

新チーム男子団体は11月の県新入大会にて、準優勝しました。「上田高校の怖さは技術力優る相手に物怖じせず、それを圧倒する気迫と気力と集中力の凄さにある」と他校の先生から評価を受ける通り、格上の松代高校にスコア2-3での惜敗です。

東信大会優勝の女子団体と合わせ、ぜひともOBの皆様のお力をお借りして、全国への道を開けますようお願い申し上げます。(小宮山 記)

平成18年度北信越高等学校剣道新入大会(2/10.11)

団体戦 女子 予選リーグ

平成19年度戦績

- 第16回長野県剣道ジュニア強化練成大会(4/29) 団体戦 女子 優勝
第3回謙信公杯争奪高等学校剣道大会(5/4) 団体戦 男子 ベスト16 女子 ベスト8
第141回東信高等学校総合体育大会(5/11.12) 団体戦 男子 第6位 女子 優勝
個人戦男子 小林真大 第8位
個人戦女子 保坂 純 第2位 滝浪 遥 第3位 柳田千賀子 第6位
第19年度長野県高等学校総合体育大会(6/2.3) 団体戦 男子 ベスト8 女子 ベスト8
個人戦男子 小林真大 二回戦
個人戦女子 滝浪 遥 第4位 柳田千賀子 ベスト8 保坂 純 一回戦
第45回北信越高等学校剣道大会(6/15-16) 個人戦女子 滝浪 遥 初戦 柳田千賀子 初戦
剣道班OB会・第5回宮下杯(班内個人戦)(6/23) 男子個人戦 伊藤駿平 優勝 中村 学 準優勝 清水貴茂・吉池 剛 第3位
女子個人戦 滝浪 遥 優勝 岩井麻衣子 準優勝 保坂 純・柳田千賀子 第3位
第19年度東信高等学校剣道選手権大会(学年別個人戦)(7/22) 2年生女子 大木智恵 優勝 深町さやか 第3位
1年生女子 清水香那 第2位 森下央果 第3位
第1回真田幸村杯剣道大会(9/9) 団体戦 女子B 準優勝 女子A 第3位
第33回東信青少年剣道大会(彰劍旗)(9/30) 団体戦 男子 第3位 女子 優勝(最優秀選手 清水香那)
第142回東信高等学校新入体育大会(10/27-28) 団体戦 男子 第6位 女子 優勝
個人戦男子 矢嶋泰介 第4位 個人戦女子 大木智恵 第2位
平成19年度長野県高等学校新入体育大会(11/17-18) 団体戦 男子 準優勝 女子 二回戦
個人戦男子 矢嶋泰介 ベスト8 女子 大木智恵 二回戦
(男子団体戦は来年2月に富山で開かれる北信越高等学校剣道新入大会に出場)

OB座談会「検事編」

司会

今回は剣道班のOBで検事をしている二人にお話を聞こうと思います。金澤先輩は、上田高校卒業が昭和51年3月の74期で私の二年先輩、丸山君は、私が上田高校で剣道班の顧問をしていたときの教え子で平成12年3月卒の97期ですが、実は金澤先輩は、現在司法研修所の検察教官をされていて、そこで司法修習生だった丸山君を教えられたということですね。

教官

そうですね。丸山君は平成18年4月に司法修習生に採用され司法研修所に入所したわけですが、たまたま私が担任していたわけです。丸山君は20クラスでしたから、本当に奇遇でしたね。

丸山

飲み会などでお話をさせてもらい、さらに剣道班だったことや、私が剣道の指導を受けた仁木先生の中学からの先輩で、よくご存じだということなどから、さらに驚いたというわけです。

司会

しかも、丸山君は先輩と同じ検事にまでなったということなので、相当に縁があったということですね。そこで、剣道班の出身者にも法曹関係者はたくさんいると思うのですが、これから目指そうという後輩もいるでしょうから、司法修習について少し教えてもらえませんか。

教官

司法修習は、司法試験に合格した者が裁判官、検事、弁護士等の法曹実務家になるために、民事裁判、検事裁判、検察、民事弁護、刑事弁護の五科目を履修する約一年の研修で、現在は司法改革の一環として司法試験合格者が多くなっていることから、一期(一年)あたり2500名ほどになっています。司法研修所では、各地での実務修習を終えた修習生に対する最終段階のまとめの修習を行っています。

丸山

研修所の雰囲気は大学に近いですね。

飲み会など頻繁に行われますし。教官

ただ、決定的に大学と違うのは集まっている人の多様さですね。大学四年で合格した人から、民間企業でキャリアを積まれた方、官僚を退官された方まで様々な人が同期として、同じ目線で付き合えるのです。また、みん目の意識が高いので、お互いに刺激になる部分が多いのではないのでしょうか。最近では女性も多く、二割三割はいます。女性の方が意識が高いという印象がありますがね(笑)。また、今年から新司法試験合格者であるロースクール(法科大学院)出身者が入ってきて、ますます多様な人物が集まってきていて、大変おもしろいし、刺激的ですね。

司会

世代が違う人と同期として強い結束をもてることは素晴らしいですね。ところで、丸山君はたまたま金澤教官が検察科目を担当されたクラスに配属されたとはいえ、どうして検事を選んだのですか。

丸山

私は、研修所に入るまでは検察官と会ったことはなく、近寄りたがたいイメージがありました。研修所で金澤教官から検事の理念や仕事の内容を伺い、山形地検で多くの検事から指導を頂き、検事がいかに人間味が豊かだと感じました。こういう方々であることが実感できました。こういう方々と仕事ができたら充実するだろうなと思ったのです。また、検察庁は組織でもありますが、同時に検察官は一人一人が独任官庁でもあるので、それぞれの検事の個性を尊重してくれることも自分に向いているように思ったことです。実際に私が検事の辞令を頂いた日に、ある検察官の方が新任検事に対して「唯々諸々として上司の命令に従うのは最悪である。自分の意見を持たなくてはいいけない。真実や法律に立脚しているのだから、上司であれ反駁せよ。検察はそういう人間を求めている」という趣旨の話をされました。この話を伺ったとき、私は検事になってよかったなあと思えて実感しました。

司会

先輩は研修所でどんな教官だったのですか。

丸山

最初、金澤教官は相当怖そうな印象だったのですが、その実は、誰に対しても優しい、とても懇切丁寧に指導され、当初の印象はすぐに払拭されました。東京地検特捜部を始め、様々な職場で活躍されてこられたにもかかわらず、ご自身の自慢話は全くせず、よく修習生の勉強の糧となるようなご自身の失敗談を話されて教官、このようにない理由だと思えます。金澤教官が最も修習生の飲み会に声をかけられておられましたね。本当に飲み会が好きだったのかも知れませんが(笑)。

司会

金澤先輩が検事を長年されてきて、検事に必要なものというのは何んだとお考えですか。そんなところを聞いてみたいのですが。

教官

そうですね。直接の答えではありませんが、剣道と検事の仕事というのは非常に共通点があるように感じています。検事の主な仕事は、警察から送られたり、独自に立件した事件の捜査をした上で起訴、不起訴を決め、また、起訴した事件の公判を遂行するというものですが、たとえば捜査では、被疑者や重要な参考人の取調べをすることがありますが、相手が本当のことを言っているのか嘘をついているのか判断することは相当に難しく、特に被疑者の場合、半端な態度で臨んでいれば、必死の相手にこちらの気持ちを見透かされ、本当のことは言ってもらえないということになってしまいます。

難しい事件で被疑者から自白を得るといえるのは、人格と人格のぶつかり合いであり、真剣勝負そのものなんですね。一対一の真剣な厳しい稽古を経験しているのと、そうした厳しい仕事にも違和感なく入っている感じがします。また、扱っている事件が刑事事件で間違いない許されませんから、ときには上司先輩から厳しい言葉が飛びこも必要でしょうね。その点でも剣道で鍛えた精神は役だったと思います。恩師の羽田先生や先輩方の厳しくも暖かい

ご指導や、同期の仲間の励ましに今でも感謝しています。

実は同期の剣道班で、もう一人名倉俊一君が検事になっていて、現在宮崎地検の次席検事として活躍しています。彼も同じようなことを話したことがあります。

丸山

剣道を通じて学んだことといえば、剣道班で仲間の重要性を学びました。剣道班は皆が同じ目標のもと、先輩や仲間、後輩に負けじと自分を厳しい状況に追い込む、気を抜いていると先輩に吹っ飛ばされるということもありました。今振り返っても、あれほど目的意識が高い集団はありませんでした。あの集団の中だからこそ自分は大きく成長できたと思っていますので、大学や司法修習時代は特に仲間を大切にしようとしてきました。これからの仕事においても、剣道時代の仲間のような良き仲間を作っていきたいと思っています。このような貴重な経験をさせていただいた恩師の仁木先生、埼玉から何度もご足労頂いた春原先輩を初めとする諸先輩方には本当に感謝しております。高校を卒業してしまうとなかなか、剣道班のような仲間は作れませんが、現役の剣道班の皆さんは良き仲間と切磋琢磨して下さい。

〈出席者の紹介〉

教官：金澤勝幸(74期卒、現職、東京地検検事、司法研修所検察教官)
丸山：丸山 潤(97期卒、現職、東京地検検事)
司会：仁木邦彦(76期卒、現職、長野県立豊科高校教諭)

舞台の上からこんにちは

宮原千恵子(85期)

皆さん、上田市を拠点に活動している劇団、TOKYO BOWZをご存知ですか?地方の小劇団としては珍しいオリジナルミュージカルを制作、上演している劇団です。

私は、そこでミュージカル女優として舞台に立っています。数年間の病院勤務を経て、昔から憧れていた舞台女優を目指し上京。東京キッドブラザースの研究生となり、そのとき知り合っ

た仲間と十年前に劇団を発足、七年前に仲間を引き連れ、劇団ごと上田に戻ってきました。現在団員は小学生から三十代後半まで30名あまり、年に一度の上田市文化センターでの公演ほか、学園祭や老人ホームでの公演、南は九州から北は山形、宮城までの地方公演、上田市の祭(真田祭・上田ワッショイ等)への参加、テレビ、ラジオのコマーシャルの声の仕事等、ほぼ一年中休む間もなく動いています。剣道とミュージカル、接点がなさそうな組み合わせではありますが、昨年は上田市の英雄、真田幸村と十勇士を題材とした「YUKIMURA」という時代劇ミュージカルを上演するにあたり、剣道班の後輩で現在も剣道を続けている滝澤肇君に、劇団員の指導をしてもらい、殺陣の前段階として、随分お世話になりました。(かくいう私は、残念ながら真田幸村の妻の役でしたので、刀を振り回すシーンはほとんど無かったのですが)また羽田先生にはたくさんの防具を寄附していただき、それらはすべて赤く塗られ、真田軍の赤備えとなりました。

また、剣道班時代の仲間、先輩、後輩も公演のたびに劇場に足を運んでくださったり、応援の声をかけてくれたりしていただいています。

来年は8月16日(土)・17日(日)に上田市文化センターにて新作ミュージカルを上演予定です。普段上田を離れて生活されているOBの皆様、来年はぜひお盆に帰省して、劇場までお越し下さい。舞台の上でお待ちしております。



「YUKIMURA」公演オープニングダンスより

「現役生の声」

班長 小林真大(3年)

受験勉強に明け暮れている現在、高校入試の時に「剣道がしたくて上田高校への入学を希望しました。」と言ったことを思い出します。この言葉の通り、私の高校生活は剣道一色に染まり、班長も務めさせて頂きました。班長を務めた一年間は喜びや苦悩も含め、新しい体験の連続でした。

小学生の時に読んで雑誌に西川清紀先生の「正しい剣道は必ず勝つ」という言葉が載っていました。この言葉に感銘を受けた私は班員全員に正しい剣道を実践して欲しいと思い、稽古メニューを組みました。しかし言葉で伝えることが苦手な私の性格から、班員との擦れ違いも多々ありました。それでも毎日の稽古や遠征などで厳しさや困難を乗り越えるうちにチームが一丸となり、日にちを重ねるごとに稽古が充実していくのを感じました。

今年度の戦績は優れたものとはいえませんが、私達は日々の稽古の集大成だと満足しています。このように私達が納得のいく結果が出せたのは、顧問の先生方やOBの先輩方、保護者の皆様の支えがあったからこそです。本当にありがとうございます。

そして、高校生活に於ける様々な体験や人々との出会いをもたらし、くれた剣道に感謝したいです。

宮下杯優勝者

男子 伊藤駿平(3年)

高校最後の試合となった宮下杯。この日は調子もよく、優勝することができた。

決勝で最後に決めた技は面だった。私の得意技であり、好きな技だ。一番練習した技でもある。その面を最後に締めてくれたのはとてもうれしかった。夏の本大会では目指していた目標に手が届かず悔しい思いを残してしまっただけ。しかしそれまでの過程で自分は大きく成長できたことを確信できる。そしてなにより良い仲間を得たことは、高校で剣道をやってきた中で最高の財産と

なった。これからの人生の中でも、先生方、先輩に教わった、上田高校の剣道は、大切に胸に留めていきたいと思う。

女子 滝浪 遥(3年)

今回は最後の宮下杯であり、高校生活最後の大会でした。とても緊張しましたが、会場のピンと張った空気が心地よく、楽しかったです。三連覇することができたのは、自分の力が出したことだからだと思います。上田高校剣道班のこの仲間と剣道ができてとても幸せです。これも、支えてくださったたくさんの方々のおかげです。ありがとうございました。

これからは、上田高校OBとして、後輩たちを応援していきたいと思っています。

大学剣道体験記

東京家政大学 4年 大森 碧(10期)

私は今東京家政大学剣道部に所属しています。小学四年から続けてきた剣道も十三年目となりました。正直ここまで続けていくことに自分でも驚いています。しかし、長く剣道をしている中で人として大きく成長できていると感じています。

高校までの部活動とは違い、大学の剣道は学生が主体となり日々活動しています。先生方に助けてもらいながらではありますが、大会や合宿などそれぞれの役割に責任をもって行動しています。その中で、私は今部長を務めています。

最初は部員をまとめる自信がなく、弱音を吐くこともありましたが、しかし、尊敬できる先生方や仲間を支えられ今では自覚をもち、よりよい部活になるよう考えています。「自分に厳しく、自分が一番大きい声を出してひっぱって行く」と思いながらメリハリある練習を心がけています。また、部員もそれぞれに事情を抱えながら部活動をしているので、一人一人に気を配りながら全体をまとめるよう努力しています。そして、家政大には外部の高段位の素晴らしい先生方に指導をいただいています。技術面だけでなく、これから

社会へ出る上で大切な礼儀、言葉遣い、責任感などとても多くのことを学んでいます。「剣道とは、人間形成の道である。」とありまます。本当にこの言葉の意味を身をもって実感しています。感謝できる先生方に会えたこと、こういった環境の下で剣道が出来ることに感謝し、残り少ない大学生活を楽しく過ごしたいと思っています。

東京外国語大学 2年 若田菜里子(104期)

大学で剣道をやるのか迷っている人がいたら、是非続けてほしいと言いたいです。地域の道場に通うという方法もあるけれど、やはり大学の部活に入ることをお勧めします。部活の方針や雰囲気、どの部活にもいえることはやはりいい出会いがあります。大学には実にいろんな人がいます。生まれたところも育ったところも剣道を教わった先生も違う人たちが集まれば、剣風も剣道に対する考え方も様々です。そんな人たちが出会ったとき、更に深く剣道を知ることが出来るしガッツと考えが変わることもあるくらい良い刺激をもらえます。

私の学校には、九州の強豪高から来た人もいます。ですから今までの経歴が違えばそれぞれの意見がぶつかり合うこともあります。ですがそうやってお互いの剣道を磨きながら、いろんな人に揉まれていくと人間的にも成長できると思っています。そしてやはり部活の仲間というのは、学科の仲間とはまた違った深いものになります。

私自身部活の先輩には、大学の楽しみ方も学生生活のあれこれも教わりました。また、OBの方々のお話を聞けるのも魅力です。ただ大学生活をしていても社会人の話を聞く機会というのはあまりないので、OBの先輩方のお話はとても貴重です。(大企業に勤めている人がいたコネもないただの人もいいかもしれません)そういったものも良い出会いと言えるでしょう。

私が今一番楽しい瞬間は、高校時代を共に過ごした同期や先輩後輩と、OB会などで顔を合わせることです。ま

た、関東大会などの大きな大会でそういった仲間と顔を合わせたり、パンフレットの選手名簿に知ってる名前が載っていたりすることがとても嬉しいです。これから大学生になる後輩たちには、是非大学でも剣道が続けてほしいと思います。

信州大学 1年 小林厚志(105期)

大学に入学してからもう半年以上が経ち、近頃は大学生活にもすっかり慣れてきました。この半年間を振り返ると高校時代同様剣道を中心に過ごしてきた気がします。これはただ剣道ばかりしてきたというのではなく、剣道による人のつながりが生活の中心にあるからだと思います。

大学には全国各地から様々な考えを持つ人が来ていて、そういった人達との出会いが自分を変えていくということを実感しました。なかでも先日引退した剣道部元主将の先輩との出会いは私に大きな影響を与えました。私はその先輩のレベルの高い剣道に圧倒され、主将としての強いリーダーシップや四年生ながら部員の履物を揃える姿に感服し、自分もこんな人になりたいと心から思いました。他にも剣道によって多くの出会いがあり、それによって自分が良い影響を受けていくことは嬉しく、また素晴らしいことだと思います。

今年信州大学男子は六年ぶりに全日本出場を果たしました。高校時代からの目標であった全国の舞台に大学で立つことが出来ました。残念ながら私は全日本では試合の機会はなく、私の役目は入場行進だけに終わりましたが選手として予選を勝ち抜いて全国大会まで行けたことは大きな収穫であり、高校時代の目標を半分程達成できたかと思えます。

大学で様々な人と知り合ったり、他大学の同期生や先輩に大きな大会で会ったりする度に剣道による人のつながりを感じます。出会った人に影響を受け、他大学で頑張る仲間の姿に励まされながら、今日も私は竹刀を握ります。

編集後記

新役員体制になってからの初の大事な事、この「剣風」編集です。今回からは分業制で取り組みました。目の行き届かない点は、少人数ゆえとご容赦下さい。

来年度のOB会は

6月28日(土)です。

新年会のお知らせ

日時 一月二日 午後五時三十分
会場 ささや
当日は午後三時より
上田高校第二体育館にてOB・
現役生合同稽古会を行います。

問い合わせ先 幹事 春口達磨 (102期)
090-651-88440

●会費納入のお願い●
会費 (三千元) 納入は…
三月三十一日までお願いします。

○連絡先変更の方は幹事長まで
ご連絡をお願いします。
幹事長 工藤武和
02080-68-0808
〒3861212 上田市富士山三三九-1
E-mail:kudou@jpe.2000.co.jp